

東洋大学産学協同教育センター

ものづくり中小企業の中核を担う人材育成講座を開催しています。

中核人材育成講座

ビジネスシミュレーション講座【開催日：1月10日(土)・11日(日)】

経営革新技術講座【開催日：2月14日(土)・21日(土)】

詳しい講座内容、受講料等については下記までお問い合わせください。

東洋大学

お問い合わせ：〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100 E-MAIL tpec@toyo.jp TEL 049-239-1646/FAX 049-239-1937 http://www.toyo.ac.jp/site/pec/

バイオ、メディア、コンピュータサイエンス分野の産官学共同研究を推進します。

東京工科大学片柳研究所は産官学のコラボレーションを基本に、21世紀社会に貢献する多彩な研究活動を支援・推進する施設です。電界放出形透過電子顕微鏡をはじめ最新鋭の研究設備を有する研究所では、既にさまざまな民間企業や公的研究機関との共同プロジェクトが推進されています。今後は、さらに幅広い学外研究者との連携を実現し、自由でオープンな21世紀型の知的創造拠点をめざします。

片柳研究所

バイオ分野 バイオナノテクセンター

メディア分野 コンテンツテクノロジーセンター

コンピュータ分野 クラウドサービスセンター

コンピュータサイエンスリサーチセンター

東京工科大学

【八王子キャンパス】 ■バイオ・情報メディア研究科 バイオニクス専攻 コンピュータサイエンス専攻 メディアサイエンス専攻 アントレプレナー専攻 ■工学部(2015年4月新設) 機械工学科 電気電子工学科 応用化学科 ■コンピュータサイエンス学部 ■メディア学部 ■応用生物学部 〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 TEL.042-637-2111 (代)

【蒲田キャンパス】 ■デザイン学部 ■医療保健学部 看護学科 理学療法学科 作業療法学科 臨床工学科 臨床検査学科 〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 TEL.03-6424-2111 (代)

【お問い合わせ】 ●研究協力課 TEL.042-637-1163(直) E-mail jm-rsc@stf.teu.ac.jp スマホ・PC http://www.teu.ac.jp/

神奈川大学

神奈川大学工学部は学生・教職員と企業の交流を開いている。2012年度から夏と秋の年2回、学部3年生・修士1年生を対象に実施。11月の交流会には学生約90人、企業36社が参加した。就職を想定したビジネスマッチングとは一線を置き、企業の代表や技術者と学生が「職とは何か」「企業とは何か」などについて意見交換し、「お互いを知る場」として機能している。

当初は機械工学科の山崎徹教授が中心となる学科規模の取り組みだったが、14年度から工学部全体のイベントに拡大した。企画・運営は学生が主体で行う点も特徴だ。学生に社会を知る場を提供することで、共同研究やインターンシップ(就業体験)など、さまざまなレベルで産学公の連携につながる。卒業論文で地域企業の新製品開発に寄与する事例などもある。

日本大学

日本大学生産工学部は「ものづくり」を特色として産業界に近いという強みを持っている。45年にわたり、学部3年次に全員が必須科目として外部企業等における「生産実習(インターンシップ)」を実施している。また、企業などからの技術相談や技術指導、委託研究、共同研究などによる産学連携を推進している研究・技術交流センターを設けている。

同学部は10の学科および系を有しており研究分野は多岐にわたるが、その中でも自動車工学に關係する産学連携を推進するために2010年に発足したのが自動車工学リサーチ・センターである。近年の自動車は多数のセンサーや通信、情報処理装置を備えた移動装置となっている。同センターでは人と環境に優しい未来の自動車作りを目指し、同様の総合力を生かした産学連携を推進している。

東京工科大学

東京工科大学は最新鋭の研究設備を有する「片柳研究所」を擁し、産官学連携による研究開発を推進している。特にバイオ技術や情報通信技術、コンテンツテクノロジーの研究プロジェクトを推進しており、学部生や大学院生も研究活動に参加。世界トップレベルの研究成果を社会や教育に還元するとともに、次世代をリードする質の高い人材育成を可能としている。

また、八王子キャンパスにバイオ・情報メディア研究科(大学院、コンピュータサイエンス学部、メディア学部、応用生物学部)を、蒲田キャンパスにはデザイン学部と医療保健学部を設置し、総合的な研究環境を整えている。これらに加え、2015年4月には八王子キャンパスに工学部(機械工学科/電気電子工学科/応用化学科)を設置する。

産学官連携の新たな展開へ

大学

東洋大学

東洋大学は「哲学教育」「国際化教育」「キャリア教育」を柱に、教育・研究ならびに産学連携活動の推進を行っている。「知的財産・産学連携推進センター」では海外の協定校や企業と連携し、「和のものづくり哲学」の精神に基づき、国際産学官連携活動「アジアのものづくり」事業を展開している。

理工学部・総合情報学部が教育・研究活動を行う川越キャンパスにおいては、50年以上の歴史を持つ「工業技術研究所」が近隣地域を中心とする産業界との窓口を担っている。また、「産学協同教育センター」は中小企業を支える高度な技術者養成を目的とした「中核人材育成講座」、学生と企業をつなぐ「長期インターンシップ」を実施するなど、企業・学生双方への教育を通じた産学連携活動を展開している。

千葉工業大学

千葉工業大学は工業大学の特色を生かした産官学連携に積極的に取り組み、国や企業に対し研究者を選定、紹介する。

宇宙航空研究開発機構(JAXA)が11月30日に打ち上げ予定の小惑星探査機「はやぶさ2」には千葉工大惑星探査研究センターが開発に参加したレーザ高度計、可視カメラ、小型衝突装置、分離カメラなどが搭載され、小惑星の成り立ちや進化の解明に大きな役割を果たす。また、同センターの流星観測カメラ「メテオ」は2015年4月までを目標に国際宇宙ステーション(ISS)に打ち上げられる予定である。

また、坂本幸弘教授とトリーテック(東京都目黒区)の連携研究「チタンのポラス状態化膜の形成」が「ちばぎん・研究開発助成制度」に選定されるなど、幅広い分野での産学連携を実現し、社会に技術貢献している。

東京電機大学

東京電機大学は学内の研究活動と産学連携による社会貢献を進めるため、さまざまな要素技術を持つ研究者が会える「CRCフォーラム」の開催や「新分野開拓研究プロジェクト」を元にした企業や社会の具体的なニーズに対応し、ポートフォリオ化したものを「知財群」として形成。各需要に対して、ワンストップソリューションを迅速に提供する。

大学間の連携による産学連携にも積極的で、11大学1機関で構成する任意団体「大学知財活用プラットフォーム(PUIP)」に参画。複数の大学(TLO)の特許や研究ノウハウを元に企業や社会の具体的なニーズに対応し、ポートフォリオ化したものを「知財群」として形成。各需要に対して、ワンストップソリューションを迅速に提供する。

新潟工科大学

地元企業や自治体の強い思いから設立された新潟工科大学は2014年度創立20周年を迎えた。開学の推進力となった組織は「産学交流会」として、共同研究や就職支援において多面的な支援を行う14年度文部科学省の「大学教育再生加速プログラム」に新潟県内の大学で唯一採択された。ラーニングポートフォリオ(学修の実践記録)の導入で、学生が実感、成果を得られる学修成果の可視化システムの確立と一貫した工学教育プログラムを運営。学士として質保証を認める。具体的にはルーブリック(学修到達度判断基準)の評価や到達度テスト、資格取得などで学修成果を学身に生かす仕組を構築。学力と人間力を備えた産業界が求める人材を育成し、企業に輩出して地域発展に貢献する。

NU-CAR

日本大学 生産工学部 自動車工学リサーチ・センター

Nihon University, College of Industrial Technology

Center for Automotive Research, Narashino, Japan

人と環境に優しいミライのクルマ創りを目指し、産学連携を推進します

自動車工学リサーチ・センター 賛助会員募集中

賛助会員企業には、基礎講習会/出張講演会/研究・技術コンサルティング/委託研究/共同研究等を優先的に受け付けます。

技術分野：車両運動、運動制御、音振動特性、材料、人間自動車系、人間工学、車両製造支援、構造力学、内燃機関、HMI、画像処理、シリアスゲーム等

自動車技術に関するCAEフォーラム2015

～自動車研究開発・設計・製造におけるCAE最前線～

入場無料

2015年2月24日(火)、25日(水)

ソラシティカンファレンスセンター(東京・御茶ノ水)

お問い合わせ先(賛助会員、自動車工学関連委託研究/共同研究等)

日本大学 生産工学部 研究・技術交流センター

自動車工学リサーチ・センター

〒275-8575 千葉県習志野市京町1-2-1

Phone: 047-474-2238

E-mail: cit.kenkyu.gijutsu@nihon-u.ac.jp

http://www.cit.nihon-u.ac.jp

好評! 日刊工業新聞社の本

僕らのソリが五輪に挑む

大田区の町工場が夢中になった800日の記録

奥山 睦 著 ●四六判 ●1,512円(税込)

産業支援機関担当の一言をきっかけに、大田区の町工場経営者たちがノリで見たことも触ったこともないボブスレー製作に乗り出した。産官学を巻き込んだ一大プロジェクトでついに完成。好記録を残し、世界で闘えるソリに仕上げた。五輪出場に向けて奮闘した町工場の技術の確かさ、チームワークを支える信頼や絆など開発を実現に導く核心に迫る。

第1章 それは2枚の書類から始まった

第2章 わずか10日間で150点の部品が集まる

第3章 思いは確信に―長野でレコードを叩き出す!

第4章 男子2人乗り用の2・3号機開発に向けて

第5章 2度目の夏、2・3号機製作が始まる

第6章 五輪への挑戦権

小さな町工場の志が世界を揺るがす

下町ボブスレーネットワークプロジェクト

奥山 睦

日刊工業新聞社

◆お求めは書店または弊社出版局販売・管理部まで

日刊工業新聞社 出版局販売・管理部

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL.03(5644)7410

http://pub.nikkan.co.jp/ FAX.03(5644)7400